

勝山小学校 跡地活用計画



0588402

まちぐるみ教育

まちぐるみ教育

地域の多様な
社会的資源に学ぶ

1 生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想の考え方

学校配置の見直しに伴う、小中一貫した教育環境づくりを行うことにより、目指しているもの



① 災害に強いまちづくりに向けた

環境整備などを見据えた新たな学校づくり

② 幼少期から中学校卒業まで地域ぐるみで関わりを持ち安心して

子育てができるようなまちづくりの実現

生野区では、少子高齢化の急速な進行に伴い、区内の小学校では、昭和50年から74%もの児童が減り、区の西部地域の学校では単学級（1学年1クラス）の学年が多数を占め、子どもの教育環境の整備が求められていることから「生野区西部地域学校再編整備計画」の推進に取り組んでおり、保護者や地域住民にご理解が得られるように取組を進めています。

しかし一方で、学校再編の規模が非常に大きく、区としての課題や、地域からのこんな声も...

学校が地域コミュニティ・地域活動の拠点だったんだけどなくなっちゃう...?

子育て世代が出て行ったりまちが衰退しない？

区西部地域は密集住宅市街地やで！
災害時避難所として校地・校舎は残さなあかん！

そこで！

こうした区の抱える課題や地域の懸念の解消とともに目指すのは...

守

これまでの学校の避難所機能は備える！

両立！

まちの活性化につながる持続可能な学校跡地運営

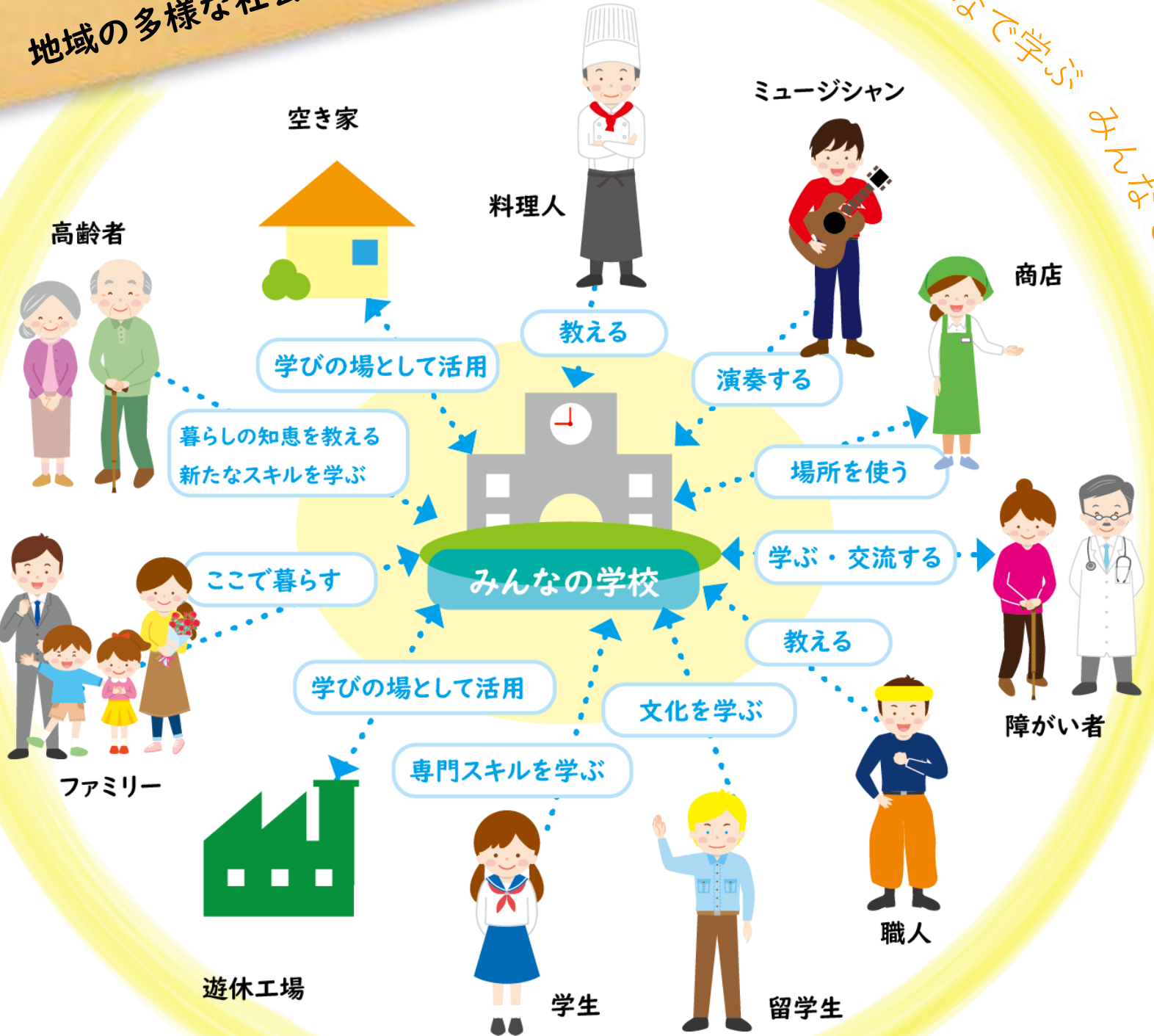
攻

閉校した後も「みんなの学校」として学校を開いていく！

まちぐるみ教育

地域の多様な社会的資源に学ぶ

みんなで学ぶ
みんなが育る

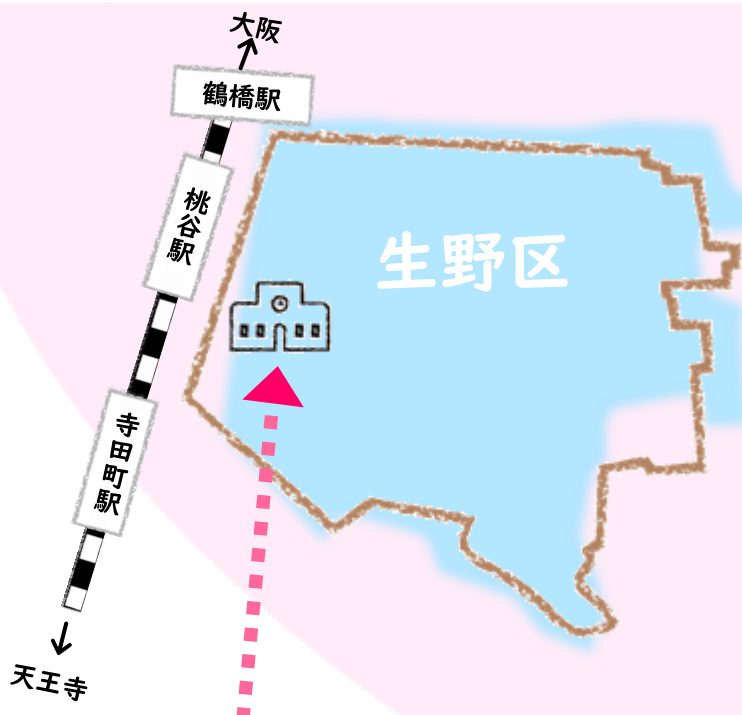


学校跡地を

「跡地をどう活用していくか」が肝^{きも}!!

このまちづくり構想を基に勝山小学校の具体的な活用方針をまとめたものが、本活用計画です。

勝山小学校エリア



ここに
勝山小学校があります！

そもそも生野ってどんなまち？

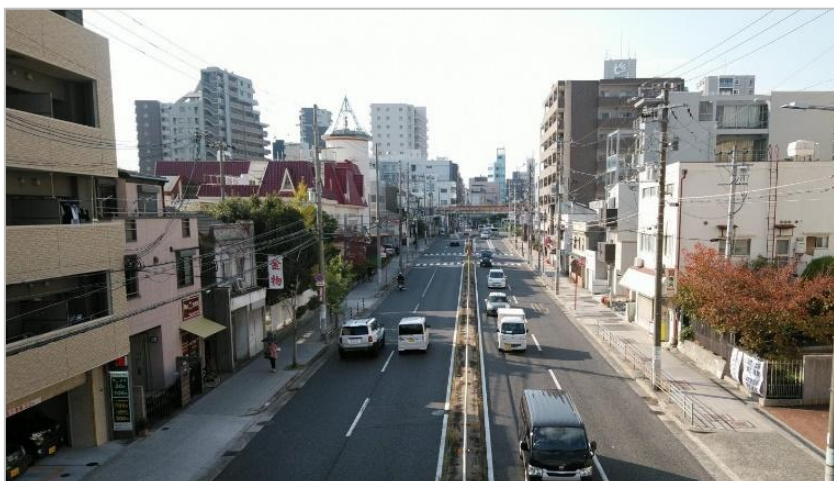
外国籍住民比率が約20%で、近年では中国人やベトナム人の留学生や技能実習生といったニューカマーにより、多国籍化が進んでいる一方、寺社や旧街道筋などの歴史的資産とともに、戦前からの「長屋」や「路地裏空間」などの下町文化が色濃く残る地域でもあります。



勝山地域は

交通の便に恵まれ、学びの場に適した文教地域！

勝山地域は生野区の南西部に位置し、地域の北端には桃谷駅前商店街を始めとした約0.5kmに及ぶ商店街があり、地域の南端には国道25号線が走り、南は阿倍野区と、西は天王寺区と隣接している。小学校から1km圏内にJR桃谷駅とJR寺田町駅があるほか、小学校から1.5km圏内に大阪市南部の交通ターミナルである天王寺駅がある。また、生野のメインストリートである勝山通（四天王寺の東門から東へ約3kmの難波足代線）を隔てて南北に位置し、交通の利便性に優れた地域である。小学校周辺には私立幼稚園や私立中学校、私立高等学校が立ち並び、学びの場に適した文教地域となっている。



生野のメインストリート：勝山通



商店街の様子



勝山小学校 概要



所在地

大阪市生野区勝山南1丁目3番5号
(大阪市生野区勝山南1丁目37番4外)

敷地面積

8,722.00㎡ (公簿面積・私道を含む)

用途地域

第1種住居地域

防火地域

準防火地域

容積率 / 建ぺい率

300% / 80%



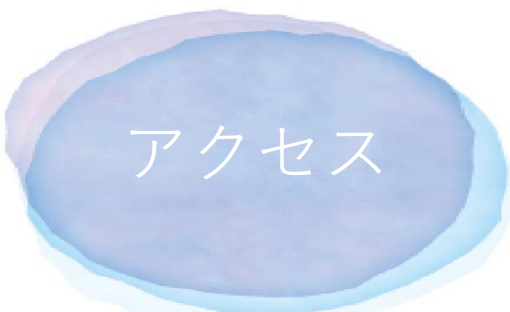
図：敷地境界線図




図：用途地域


第1種住居地域
準住居地域

参考：マップナビおおさか：<https://www.mapnavi.city.osaka.lg.jp/osakacity/Portal>



 JR大阪環状線 桃谷駅
南へ約0.5km

 JR大阪環状線 寺田町駅
北へ約0.7km

 大阪シティバス 勝山北一丁目 バス停西へ約0.3km



活用にあたっての考え方と要件

活用にあたっての基本的な考え方



活用にあたり求めるマインド

前提とするもの

- 災害時には避難所として開放するとともに、地域の防災拠点としての機能を有するもの
- パブリックマインドを持った活用とし、地域と緊密に連携し、地域貢献に資する地域コミュニティ機能を有するもの
- 基本的に校舎施設全体を一括して運営しつつ、かつ持続可能な運営となるもの

望まれるもの

- 人々に居場所と持ち場を提供できる地域包摂的視点を有するもの
- 周辺エリアの特徴・文化を活かした様々な学びの機会や雇用の場の創出へとつなげ、生野区ならではの教育・仕事・暮らしをまち全体で育てていく拠点となるもの
- 周辺エリアとのつながり・波及と地域活性化が見込めるもの

勝山小学校で特に望まれるもの

～地域と共存共栄し、
地域活性化や交流に寄与する学校など
「様々な学びの場」や「多世代の繋がりを育む憩いの場」
となるもの～

持続可能な運営スキーム

民間のノウハウを活用して、地域および行政との協働により、自律的で持続可能な運営を行います。

ひとつの事業者（法人もしくは法人グループ）が跡地全体を借り上げて運営する

※転貸は原則として禁止。ただし、貸付の趣旨に相応しいものとして、事前に本市が承認した場合に限り、必要最小限の範囲で第三者への転貸を可能とする



【貸付方法】 事業用定期借地契約

【貸付期間】 49年11か月

【貸付料】 1,161,000円／月

主な費用負担

負担者	費用項目
運営事業者	・事業に伴う施設建設に要する費用 (※敷地境界線の後退に必要な改修等に要する費用を含む)
	・施設全体にかかる維持管理費
	・建物の公租公課
	・その他事業に伴う維持管理費等
	・施設運営後の解体撤去費用
本市	・土地の公租公課

防災機能と地域コミュニティ機能



施設の運営にあたり、事業者、地域および行政の三者による協議体を設置し、施設運営全般（防災・地域活動含む）について協議します。

防災
機能

災害時に地域住民が
安全に避難できるスペースに！

現在と同規模の「避難所スペース」
「備蓄倉庫」 「一時避難場所」
などを確保する

地域活動を継続的に

これまでの地域活動についても、
地域ニーズ・意向を踏まえ、
継続して実施できるスペースを確保

地域
コミュニティ
機能

防災機能

名称		大きさ・室数など
災害時避難所 スペース (690人分)	避難者居室	屋内1,380㎡以上を開放 (複数箇所設置による面積確保も可) ※うち30人程度が使用できる部屋4室を開放
避難所運営事務所スペース		屋内で30名程度が使用可能な作業スペース 1室を開放
備蓄倉庫		床面積64㎡以上の1室を開放
一時避難場所		災害の危険が及ばない屋外に 2,330㎡以上を開放
水害時避難ビル(441人分)		屋内706㎡以上を開放

※備蓄倉庫以外は、災害発生時に即時開放できるよう、平常時は可動式の物品のみ設置可。また、平常時は事業者による活用も可。ただし、防災訓練時には開放(年2回程度)。

地域コミュニティ機能

名称	大きさ・室数など
地域活動スペース(屋外)	屋外2,000㎡以上を確保し、開放 (年5回程度) ※上記、一時避難場所と兼ねることは可
地域活動スペース(屋内) 兼 物品保管倉庫	・屋内で、地域備品の保管(14㎡相当)と25人程度が会議のできる部屋(現在64㎡の部屋を使用)1室及び地域活動の備品保管スペースとして64㎡程度の部屋1室を開放

選挙時における投票所

名称	大きさ・室数など
投票所	床面積150㎡以上の1室を開放
従事者用控室	・従事者3名程度が休憩・飲食・軽度の炊事ができる1室を開放



問合せ先

担当：生野区役所 地域まちづくり課

住所：〒544-8501

大阪府大阪市生野区勝山南3丁目1-19

TEL：06-6715-9017

FAX：06-6717-1163